



第63回松本歯科大学大学院セミナーのお知らせ

日時： 5月11日(火) 午後16時30分より

場所： 実習館2階総合歯科医学研究所セミナールーム

演者： 中山 浩次 先生

(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科口腔病原微生物学分野・教授)

タイトル： 口腔慢性感染の心血管系および骨代謝系に与える影響

最近の疫学的データ (Taniguchi et al., Metabolism. 2003, 52(2):142-5 など) は慢性歯周炎の最有力な起因菌である偏性嫌気性細菌 *Porphyromonas gingivalis* の感染と心血管病変との関係を示唆している。私たちは心内膜炎、アテローム性動脈硬化などの心血管疾患に関係があるといわれる *Streptococcus sanguinis* や *Chlamydia pneumoniae* が血小板凝集活性を有していることから、*P. gingivalis* の血小板凝集性に着目し、その反応機構を明らかにすることを目指してきた。また、歯周炎の増悪機構を詳細に解明するため、歯周炎局所で誘導される各種サイトカイン相互の骨代謝系、とりわけ、破骨細胞分化への影響を検討している。今回は *P. gingivalis* の血小板凝集機構と共刺激因子である 4-1BB の破骨細胞分化抑制作用についての話題を提供したい。